

木更津工業高等専門学校	開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	経済学
科目基礎情報				
科目番号	0079	科目区分	一般 / 必修選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科	対象学年	4	
開設期	通年	週時間数	1	
教科書/教材	福山・照山著『マクロ経済学・入門 第5版』有斐閣、2016年			
担当教員	武長 玄次郎			
到達目標				
日本と世界を取り巻く経済状況は、年々不安定さを増している。それについて、理論と実際の両面から理解できるようにすることが目標である。学修単位であり、事前事後の課題を授業時間内に提示する。				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	日本経済の現状と問題点を把握し、分かりやすく説明できる。	日本経済の現状と問題点をある程度理解できる。	日本経済の現状と問題点を十分理解できない。	
評価項目2	日本経済と世界の関わりを多角的に説明できる。	日本経済と世界の関わりを説明できる。	日本経済と世界の関わりを説明できない。	
評価項目3	日本経済の状況を自分の将来の問題と関連づけて考え、何らか解決策を案出できる。	日本経済に関する自分の考えを提示できる。	日本経済に関する自分の考えを説明できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	日本経済の取り巻く問題点を理解し解決策を探る。			
授業の進め方・方法	講義形式で進め、適宜映像教材を用いる。			
注意点	授業90分に対して、教科書や授業中に伝える教材等で同じ時間予習と復習を行う。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週 ガイダンス	授業方法の理解	
		2週 GDPとは何か	GDPについて理解できる	
		3週 GDPの変化	GDPで見る日本の発展と停滞の歴史を理解できる	
		4週 消費の仕組み	消費が経済発展とどう結びつくかを理解できる	
		5週 日本人の貯蓄	日本人の貯蓄行動の変化について理解できる	
		6週 投資のあり方	投資の大切さについて理解できる	
		7週 日本経済の停滞	長引く日本の停滞について理解できる	
		8週 金融の仕組み	金融の基本的な枠組みについて理解できる	
	2ndQ	9週 株式市場	株式市場のあり方と日本の証券市場の特徴を理解できる	
		10週 貨幣の仕組み	経済の上で不可欠な、貨幣について理解できる	
		11週 貨幣の需要と供給	貨幣の需要と供給を適正化する仕組みを理解できる	
		12週 日本銀行の役割	日本銀行の歴史と業務内容、今後の役割を理解できる	
		13週 乗数理論	経済発展の基本的な仕組みである乗数理論を理解できる	
		14週 IS-LM分析	現在の基本的な経済分析であるIS-LM分析を理解できる	
		15週 景気対策の歴史	過去に行われた景気対策を理解できる	
		16週		
後期	3rdQ	1週 経済対策の必要性	経済対策がなぜ必要か、その効果について理解できる	
		2週 景気循環	景気循環を理論的に理解できる	
		3週 財政問題	日本の財政問題の深刻さを理解できる	
		4週 国債の歴史	国債問題を長期的、歴史的に理解できる	
		5週 インフレの歴史	インフレの問題点を世界的・歴史的に理解できる	
		6週 デフレのもたらすもの	デフレの悪影響を、日本や世界の実態に即して理解できる	
		7週 世界金融危機	世界金融危機の原因と影響を理解できる	
		8週 失業問題	日本の失業問題の現状を理解できる	
	4thQ	9週 世界の貧困	世界の貧困問題の深刻さを理解できる	
		10週 女性・老人と労働市場	女性と高齢者にとっての労働市場を理解できる	
		11週 経済成長理論	何が経済成長をもたらすのか、国際経済の見地から理解できる	
		12週 先進国と途上国	先進国と途上国との格差の問題について理解できる	
		13週 為替レート	経済を左右する為替レートの決定条件を理解できる	
		14週 國際通貨制度	國際通貨制度の歴史と現状について理解できる	
		15週 世界経済と日本経済の将来	日本および世界経済の将来について展望できる	
		16週		
評価割合				
	試験	発表	相互評価	態度
	ポートフォリオ	その他		合計

総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100
基礎的能力	0	30	0	0	0	20	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	20	0	0	0	30	50